

東聖

明るい子 夢
がんばる子 力
やさしい子 心



令和3年9月22日9月号

命について考える2 ～「死ぬ権利」よりも「生きる権利」を守る社会～

校長 成田 光 弘

2019年11月、京都市中京区のマンションに住む難病患者の林優里さんがSNSを通じて「安楽死」を依頼した医師二人によって薬物を投与され、殺されたという事件がありました。2020年7月23日に嘱託殺人容疑で逮捕された2人の医師は、主治医でもなく、遠方から訪れてこの事件を犯したようです。

この事件に対し、自身もALSの患者である方が次のコメントを述べています。

報道を受け、インターネット上などで、「自分だったら同じように考える」「安楽死を法的に認めて欲しい」「苦しみながら生かされるのは本当につらいと思う」というような反応が出ていますが、人工呼吸器をつけ、ALSという進行性難病とともに生きている当事者の立場から、強い懸念を抱いております。なぜなら、こうした考え方が、難病患者や重度障害者に「生きたい」と言いにくくさせ、当事者を生きづらくさせる社会的圧力を形成していくことを危惧するからです。

私も、ALSを宣告された当初は、出来ないことが段々と増えていき、全介助で生きるということがどうしても受け入れられず、「死にたい、死にたい」と2年もの間、思っていました。しかし、患者同士が支えあうピアサポートなどを通じ、自分の経験が他の患者さんたちの役に立つことを知りました。死に直面して自分の使命を知り、人工呼吸器をつけて生きることを決心したのです。その時、呼吸器装着を選ばなければ、今の私はなかったのです。

「死ぬ権利」よりも、「生きる権利」を守る社会にしていけることが、何よりも大切です。どんなに障害が重くても、重篤な病でも、自らの人生を生きたいと思える社会をつくるのが、私の使命と確信しています。

(下線 成田)



EPS 10

『生きたい』と言いにくくさせ、当事者を生きづらくさせる社会的圧力。この言葉に私は、衝撃を受けました。学校現場では、子供達の成長を願い、日々わかるようにさせたり、できるようにさせたりという活動に満ちあふれています。究極の目標は子供達の「自立」にあると考えています。「できる」ということは絶対的な価値として疑いませでした。だからこそ、できないことが急速に増えていくこの病気の苦しさは「死にたい」と思っても仕方が無いと考えたのです。しかし、社会的圧力が「生きたい」と言いにくくさせていたとしたら…。6月号の自死を選択した女性もこの社会的圧力を感じていた可能性があったかもしれません。真相はわかりませんが、もちろん彼女には、生きているだけで伴ってしまう痛み・苦しみがありました。心の苦しきも。

「こんな夜更けにバナナかよ」という映画がありました。この映画の主人公は、やはりALSを発症しています。しかし、自死を選ぶようなことはしません。「患者とボランティアは対等な関係にある」と言って、ボランティアの方と楽しく人生を謳歌していました。これも実在するモデルの方がいるそうです。

簡単なことではありませんが、身体の方はともかく、心の方の苦しきは環境によって取り除くことは、可能なのではないかと考えます。「生きる権利」を守る社会が構築されれば。

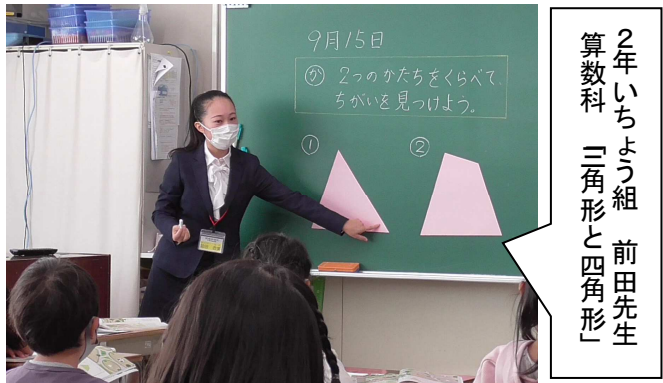
間違いないことは、存在しているというそのこと自体に人の価値はあると言うことです。そのことを、学校でも再確認する必要があると感じました

そして「真の自立」とは、何なのか捉え直す必要があると考えています。

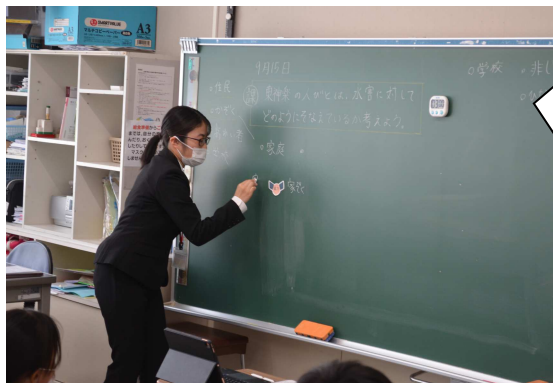
教育実習終了しました

8月23日から9月17日まで、教育実習が行われました。今年は、新型コロナウイルスの関係で例年より1週短い4週間の日程で行われました。本校には、教育大学旭川校から2名、前田杏実さんが2年いちよう組へ、大淵朱夏さんが4年いちよう組へ配属となりました。

15日、それぞれの研究授業があり、17日には臨時の全校朝会で東聖っ子にお別れを告げ、短い期間でしたが2人にとっては充実した4週間の実習が終わりました。本校での経験を踏まえ、是非正式な教員となって現場に戻ってきてくれたらと思います。



2年いちよう組 前田先生
算数科 三角形と四角形



4年いちよう組 大淵先生
社会科 自然災害にそなえる



全国学力・学習状況調査結果から

全国学力・学習状況調査の結果が先日公表されました。昨年はコロナ禍により、調査問題は配付されましたが、各校による自校採点のみで

本校児童の平均正答率	国語	算数
	63%	68%

全国的な集計は行われておりませんでしたので、全国の調査結果の公表は2年振りとなりました。

平均正答率を見ますと、本校児童は、国語で全道平均と同様、算数で全道平均を上回るものの、共に全国平均をやや下回る結果となりました。

国語では、漢字や接続詞などを問う「言葉の特徴や使い方に関する事項」で全国平均を上回っており、「話すこと・聞くこと」領域で全国平均とほぼ同様、「書くこと」「読むこと」領域で全国平均を下回っています。

算数では、「測定」「変化と関係」「データの活用」領域で全国平均を上回っていますが、「数と計算」「図形」領域で全国平均を下回っています。

このような結果を受けて、校内学力向上チームで更なる分析を行うとともに、日常の授業改善や少人数指導、ティーム・ティーチング等を更に充実させるなどして、全教職員で東聖っ子の学力の更なる向上に努めていきます。

第55回上川管内中部地区研究大会について

9月30日(木)は、スクールカレンダーでお伝えしているとおり「上教研中部地区研」のため午前授業となっております。例年は1日日程で各会場校に分かれて研究授業が行われるのですが、昨年はコロナ禍により全面中止となり、今年は規模を縮小し、各校でZOOMを使って研究授業等を視聴する形で行われます。

教職員の間でもICTの活用による新たな研究スタイルでの研究会等が増えてきています



10月の主な予定

【東聖オープンスクール(TOS)関係】※詳しくは学年通信等でご確認ください。

- ・10/ 6 (水)《午前》2年生(いちよう, しらかば, かえで)《午後》4年生(いちよう, しらかば)
- ・10/ 8 (金)《午前》1年生(いちよう, しらかば, かえで)《午後》5年生(いちよう, しらかば)
- ・10/12 (火)《午前》3年生(いちよう, しらかば, かえで)《午後》6年生(いちよう, しらかば)

【5年生宿泊研修関係】

- ・10/18 (月) 1日目「大雪青少年交流の家(美瑛町)」
- ・10/19 (火) 2日目「 (//)」
- ・10/20 (水) 5年生回復休業日

